

平成 20 年 4 月 9 日

電通の俣木盾夫会長が「IAA 賞」を受賞

株式会社電通(本社:東京、代表取締役社長:高嶋達佳、以下電通)の代表取締役会長 俣木盾夫は、IAA(国際広告協会、以下 IAA)(注1)が世界の広告業界の発展に寄与した人物に贈る賞である「IAA 賞」(注2)を受賞した。

授賞式は、第 41 回 IAA 世界広告会議ワシントン DC 大会(4 月 6 日~9 日)の 70 周年記念式典の中で行われた。

同賞は、世界の広告業界の発展に著しく寄与した人物に隔年で贈られる IAA 最高位の賞で、これまで数多くの世界の広告界のリーダーが受賞している。俣木会長は日本人としては 4 人目の受賞者で、電通としては 1961 年に第 4 代社長の吉田秀雄が、1977 年に第 5 代社長の日比野恒次(受賞時は相談役)が受賞しており、俣木盾夫会長で 3 人目となる。

<俣木会長の受賞コメント>

「この度は、IAA 賞を拝受し、IAA ならびにインドラ・アビディン会長に、心より御礼申し上げます。このような身に余る栄誉に大きな感動を覚えます。私個人が受賞したというよりも、電通グループの社員を代表していただいたものと思っております。この受賞を誇りとし、今後も一層努力を重ね、広告業界のために力を尽くす所存です。」

注 1) IAA (国際広告協会)

1938 年に米国ニューヨークで設立された広告の国際非営利団体で、76 の国々の広告主、広告会社、メディア企業などと、広告関係団体・組織、教育機関など各界に及ぶ 4,000 人の個人会員、さらに 53 社のコーポレート・スポンサー、57 の公認大学・広告専門学校、35 の広告関係団体で構成されている。

注 2) IAA 賞 (The IAA Award)

同賞は、1951 年に「IAA Man of the Year Award」として創設され、毎年、広告界に貢献のあった人物 1 名に贈られた。1980 年代中頃から現在の「IAA 賞」に呼称変更され、隔年の贈賞となった。

2000 年以降の同賞の受賞者は、2000 年がマーチン・ソレル氏(WPP グループ 最高経営責任者)、2002 年がカルロス・ゴーン氏(日産自動車株式会社 取締役共同会長兼社長)、2004 年がリチャード・ブランソン氏(ヴァージングループ 創始者)、2006 年がモーリス・レヴィ氏(ピューブリシス・グループ会長兼最高経営責任者)であった。